

## 近鉄電車 その2 路線数と生き立ち

(合併の歴史)

阪神電車が孤高の歴史ならば、近鉄電車は、吸収合併、離合集散の複雑怪奇な(失礼?)生き立ちを持つ会社といえるでしょう。

このようなわけで、聞きかじりの情報では、近鉄の発足の原点を特定することはきわめてムツカシイと思い、近鉄の社史によることにすると、

明治43年 奈良軌道を設立。

同年 大阪電気軌道と社名変更(以降 **大軌=ダイキ**の名を使用)

大正10年 天理軽便  
鉄道を買収

大正11年 生駒ケー  
ブルを買収

昭和4年 伊賀電鉄  
を買収

昭和4年 吉野鉄道を買収

昭和4年 参宮急行を設立、大軌から社名変更

昭和4年 伊勢電鉄を設立

昭和13年 橿原神宮(大軌) 伊勢神宮(参急) 熱田神宮(関急) 体制

昭和15年 養老電鉄を買収

昭和15年 関西急行を設立、すぐ参宮急行に合併

昭和18年 大阪鉄道を買収(ここから戦時緊急輸送体制の合併がはじまる)

昭和19年 南和鉄道を買収

社名 **近畿日本鉄道** となる

昭和19年 南海電鉄を合併 昭和

21年南海電鉄を分離

昭和38年 奈良電鉄を買収

昭和39年 信貴生駒電鉄を買収

昭和40年 三重電鉄を買収

昭和45年 現在の**近鉄態勢**となる。

このように近鉄は、買収の歴史であり、買収されただけ路線数があることになりません。現在登録されている路線数は、前号で紹介した通り=23路線あり、奈良軌道、大軌を除けば、23社を買収したことになります。

買収、合併の影響は今日まで尾を引き、近鉄には

軌道幅(レール幅)が、1435、1067、762mmと3種類あり

電圧も、1500、750V(600V)と2種類、加えて、駅舎も統合されていないところがあるなど、未だに全社統一への道半ばのようなところがあると同時に、統一出来ない歴史を抱えたママになっているように思います。

(次号以降、このあたりの知っている話題をまとめてみます)

